



男女共同参画の視点でアップデートするメディアリテラシー

～その表現、大丈夫？～

【開催日・場所】 令和7年10月3日(木) 砥部町役場

講師：桐木陽子さん（松山東雲短期大学 教授）

webサイトやSNSを通じて誰もが多様な情報を入手・発信できる現代社会だからこそ身に付けておきたいメディアリテラシーについてジェンダーの視点で学ぶ講座を開催しました。

はじめに男女共同参画の基礎理解を深めたのち、過去に炎上してしまった企業CMなどを参考に、問題のある表現・望ましい表現をジェンダーの視点で考えました。私たちが会話の中で普段何気なく使っている言葉や、よく耳にするような表現にもジェンダーバイアス(性別による差別や偏見)が多く隠れています。

講師の桐木さんは「ジェンダー意識を持つことは個人としてはもちろん、企業や組織として必要不可欠の要素になってきている。」と説明したうえで、組織の中で性差による違和感を表明できるような風土づくりと、情報を取り扱うためのルールやチェック機能を設ける体制づくりの必要性を訴えておられました。

